

足立工科高等学校 令和5年度 教科「工業」 科目 プログラミング技術 年間授業計画

教科：工業 科目：プログラミング技術 単位数：2単位 対象：第3学年 3組

教科担当者：(3組: 印)

使用教科書：プログラミング技術(実教出版)

使用教材：教科書・電卓・プリント・PC

	指導内容	科目「プログラミング技術」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	プログラミング技法 I	一次元配列 配列を用いる利点について理解し、具体的に配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、配列の宣言が行えるようにする。また、配列の先頭アドレスを意識させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	一次元配列 配列を用いる利点について理解し、具体的に配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、配列の宣言が行えるようにする。また、配列の先頭アドレスを意識させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	一次元配列 配列を用いる利点について理解し、具体的に配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、配列の宣言が行えるようにする。また、配列の先頭アドレスを意識させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
5月	プログラミング技法 I	一次元配列 配列を用いる利点について理解し、具体的に配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、配列の宣言が行えるようにする。また、配列の先頭アドレスを意識させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	一次元配列 配列を用いる利点について理解し、具体的に配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、配列の宣言が行えるようにする。また、配列の先頭アドレスを意識させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	中間考査			
	プログラミング技法 I	文字型配列 配列と文字列の関係を理解し、文字列+ナル文字の要素数が必要なことを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
6月	プログラミング技法 I	文字型配列 配列と文字列の関係を理解し、文字列+ナル文字の要素数が必要なことを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	多次元配列 多次元配列を理解し、二次元配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、二次元配列の宣言が行えるようにする。配列の先頭アドレスを理解させる。繰り返し処理のネスト構造について復習を行う。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	多次元配列 多次元配列を理解し、二次元配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、二次元配列の宣言が行えるようにする。配列の先頭アドレスを理解させる。繰り返し処理のネスト構造について復習を行う。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	多次元配列 多次元配列を理解し、二次元配列のサイズと要素数、添え字にの関係を学習し、二次元配列の宣言が行えるようにする。配列の先頭アドレスを理解させる。繰り返し処理のネスト構造について復習を行う。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	期末考査			1
7月	プログラミング技法 I	ポインタ ポインタがメモリ上のアドレスを扱う方であることを説明し、ポインタにはアドレスが入ることを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	ポインタ ポインタがメモリ上のアドレスを扱う方であることを説明し、ポインタにはアドレスが入ることを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
8月				
	プログラミング技法 I	ポインタ メモリアドレスとアドレス演算子、間接演算子について説明し、その関連性と働きを理解する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	ポインタ メモリアドレスとアドレス演算子、間接演算子について説明し、その関連性と働きを理解する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2

9月	プログラミング技法 I	ポインタ メモリアドレスとアドレス演算子、間接演算子について説明し、その関連性と働きを理解する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	ポインタと配列 配列の先頭アドレスをポインタに格納できることを説明し、配列とポインタの関係性、ポインタの演算、文字列との関係を理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 I	ポインタと配列 配列の先頭アドレスをポインタに格納できることを説明し、配列とポインタの関係性、ポインタの演算、文字列との関係を理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
10月	プログラミング技法 I	ポインタと配列 配列の先頭アドレスをポインタに格納できることを説明し、配列とポインタの関係性、ポインタの演算、文字列との関係を理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	中間考査			1
	プログラミング技法 II	関数 関数の概念とCにおける関数の意味を理解させる。関数の型と引数について説明し、プロトタイプ宣言が必要なことを理解させ、具体的に関数の作り方を理解する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	関数 関数の概念とCにおける関数の意味を理解させる。関数の型と引数について説明し、プロトタイプ宣言が必要なことを理解させ、具体的に関数の作り方を理解する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	関数 関数の概念とCにおける関数の意味を理解させる。関数の型と引数について説明し、プロトタイプ宣言が必要なことを理解させ、具体的に関数の作り方を理解する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
11月	プログラミング技法 II	プリプロセッサ プリプロセッサの種類と働きを理解させる。#includeでは標準ライブラリの読み込む指令を説明し、利用できるように理解させる。#defineでは利点を説明し、その働きを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	プリプロセッサ プリプロセッサの種類と働きを理解させる。#includeでは標準ライブラリの読み込む指令を説明し、利用できるように理解させる。#defineでは利点を説明し、その働きを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	プリプロセッサ プリプロセッサの種類と働きを理解させる。#includeでは標準ライブラリの読み込む指令を説明し、利用できるように理解させる。#defineでは利点を説明し、その働きを理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	変数の有効範囲と記憶クラス 変数の有効範囲と記憶クラスについて説明しその違いについて理解する。新しく採用されているfor (int i=0;...)なども積極的に取り入れ、変数の有効範囲についても説明する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	変数の有効範囲と記憶クラス 変数の有効範囲と記憶クラスについて説明しその違いについて理解する。新しく採用されているfor (int i=0;...)なども積極的に取り入れ、変数の有効範囲についても説明する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	変数の有効範囲と記憶クラス 変数の有効範囲と記憶クラスについて説明しその違いについて理解する。新しく採用されているfor (int i=0;...)なども積極的に取り入れ、変数の有効範囲についても説明する。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
12月	期末考査末			1
	プログラミング技法 II	アドレスを渡す関数 関数には値を渡す関数と、アドレスを渡す関数があることを説明し、その違いと働きについて理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	プログラミング技法 II	アドレスを渡す関数 関数には値を渡す関数と、アドレスを渡す関数があることを説明し、その違いと働きについて理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
1月	ネットワークの利用	ネットワークの種類と形態について説明し、クライアントとサーバーの役割について理解させる。ネットワークの通信規約について説明し、標準規格となっているTCP/IP規格に触れ、インターネットの差ピースについて理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	ネットワークの利用	ネットワークの種類と形態について説明し、クライアントとサーバーの役割について理解させる。ネットワークの通信規約について説明し、標準規格となっているTCP/IP規格に触れ、インターネットの差ピースについて理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
	ネットワークの利用	ネットワークの種類と形態について説明し、クライアントとサーバーの役割について理解させる。ネットワークの通信規約について説明し、標準規格となっているTCP/IP規格に触れ、インターネットの差ピースについて理解させる。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	2
2月	学年末考査			1
	年間のまとめ	一年間を振り返り、コンピュータ・プログラミング技術について理解を深める。	提出物、授業態度、出席状況を考慮し、理解度、進捗状況を評価の観点にいれ総合的に評価	1
3月				